

(S2021-06 用)

当院で内視鏡検査治療を受けられる方へ

現在、日本消化器内視鏡学会では以下の臨床研究を実施しています。
当院では、この研究の一部を分担しています。

この研究は、日本全国で行われている主に無症状で消化器内視鏡検査を受ける方々に対する診断の精度を向上させるために行う研究です。この研究の実施に先立ち、研究実施者は倫理審査委員会において医学的必要性、研究の倫理面、安全面、妥当性の観点から審査を受け承認を得ています。研究期間は 2021年5月1日～2022年3月31日です。

《研究課題名》

「スクリーニング上部内視鏡検査における AI 部位認識精度向上のための研究 (多施設共同 後向き観察研究)」

《当院での研究対象者》

2020年12月より2021年4月までに京都第二赤十字病院 内視鏡センターにおいて内視鏡検査を受けた方

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、消化器内視鏡専門医の負担を軽減しつつ内視鏡検査の質の向上に資する内視鏡画像撮影時逸脱監視ソフトウェアの性能向上を目指し、人工知能の一手法である Deep Learning 技術を用いたコンピュータ画像解析による性能向上を目的としています。このような内視鏡検査における精度の向上を人工知能を用いておこなうことは患者側だけでなく、医療を提供する側にも大きな利益をもたらすものと考えています。

その為に、経鼻内視鏡 1,150 例、経口内視鏡 850 例の画像データ 約 80,000 枚を人工知能学習に用いてアルゴリズムを開発研究します。従来の手法で得られた知見を最大限に運用し、より精度の高い人工知能による分析技術を開発します

② 利用し、又は提供する情報の項目

- 使用するのは画像のみです
- 画像には患者さんの個人情報が入っていません
- 個人情報のない、内視鏡画像のみを用いて、どの部位が撮影された画像であるかを判断し、コンピュータが学習を行います
- 多くの画像をコンピュータがどの部位が撮影されたかを瞬時にかつ精確に判断できるものを作ります
早期癌登録に対する精確な情報収集

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

③ 利用する者の範囲 (データを使って解析等を行う研究機関・研究者等)

研究の実施体制 (多施設共同研究)

統括責任者：京都第二赤十字病院 消化器内科/医療情報室長 田中 聖人

<共同研究機関>

共同研究機関：公益財団法人ちば県民保健予防財団（研究責任者：山口和也）

公益財団法人とくしま未来健康づくり機構徳島県総合健診センター

（研究責任者：青木利佳）

共同研究機関：オリンパスメディカルシステムズ株式会社（研究責任者：藤垣勇人）

<研究協力機関>*

舞鶴赤十字病院（研究責任者：酒田宗博）

※研究協力機関とは、既存情報から収集したデータのみを提供する施設。

④ 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

統括責任者：田中 聖人

研究責任者：田中 聖人

⑤ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること

研究対象者となる方または代理の方で、本研究への情報の利用にご賛同頂けない場合は、情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には下記⑥にご連絡ください。利用に賛同頂けない場合でも、何ら不利益は生じません。

ただし、検査から6ヵ月経過した情報に関しては利用させていただきます。

⑥ ⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

研究責任者：消化器内科・田中 聖人

TEL：075-231-5171（内線：3000） Email：seijin7705@gmail.com

以上